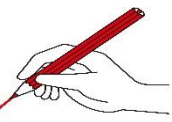


Move Mountains

5年生通信

5月8日18号



○説明文～言葉の意味が分かること～①

全ての学習に通ずることですが、なぜ学ぶのか分かっている方がやる気が出ます。学年が上がるにつれて内容は抽象的になっていきます。だから、直接的に明日使えるようなものばかりではありません。

ただし、「すぐに使えるものは、すぐに使えなくなる」という言葉の通り、不易を学び、様々なことに活用していくことも必要な力です。

国語科では、物語文と説明文、大きく分けて2つの文章を読んでいます。

最初に確認をしました。

算数の教科書って… 説明文！ だよね。

理科は 説明文！ そうそう。

社会は、家庭科は…と続けました。

今後、**読む文章のほとんどが説明文**です。図鑑だって、取扱説明書だって、契約書だって、法律も説明文と言えるでしょう。

ですから、説明文を**正確に読む力**はとても重要です。

今回は「言葉の意味が分かること」を通じて正確に読むことを学んでいきます。

個人的なことですが、国語好きが高じて言語学は独学でかじっています。「言葉の意味が分かること」著者の今井むつみ先生は、世界的な言語学者で何冊も著書を読んだことがあるので、楽しい単元です。

さて、一通り読み聞かせをしましたが、

「そうか？」「なるほど～」「それはある」「まあ、そうか…？」「たしかに！」と、実に素直な反応が返ってきます。

これまでの経験で説明文の読み聞かせをして、このように反応があることが新鮮です。内容を理解して、興味をもっている証だと思います。

これからの学習が楽しみです。